

# GT-ROLLER

## Q1.1



THE ROAD IS HERE

 GROWTAC

 MADE IN JAPAN

H97mm × W583mm × L1354mm (折り畳み時 734mm) Weight : 約 14kg

国内特許取得済

### ◆ 想像を超える乗りやすさ

超低速から高速走行まで、スムーズで安定した走行感は初心者も乗りやすく、レースを想定したハードトレーニングでも“超安定”、まるで外を走っているような感覚で走行できます。

### ◆ ダンシングもできて、乗れば乗るほど楽しくなる

ダンシングやスラローム、スプリント、DH ポジションなど、トレーニングを積んで自転車を自在に操る楽しさを手に入れよう。その先には、より実践的なトレーニングが待っています。

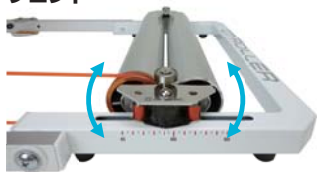
### ◆ 登り坂も再現、ヒルクライムトレーニングにも対応

フロントの昇降機能を使えば、坂道をリアルに再現したヒルクライムトレーニングが可能です。オプションの負荷ユニットを併用して 10% 以上の激坂も再現します。

## フリーダムシステム (FREEDOM.SYS)

Q1.1 の特徴でもある 4 本ローラーは、従来の 3 本ローラー特有の不安定なハンドリングを解消するために、GROWTAC が 3 年の年月を費やして開発したオリジナル機構 “フリーダムシステム” を採用しています。フロント、リアそれぞれのコントローラーユニットが独立して自転車の動きを制御することで、圧倒的な安定感をもたらします。

### フロント



ハンドルの動きや、ペダルを踏み込んだ時の前後動によって起こるホイールベースの変化に合わせて、2 本のローラーがスウィングします。2 本のローラーに対するフロントタイヤ接地圧を一定に保ち、不安定になりがちなハンドリングを補正します。

### リア



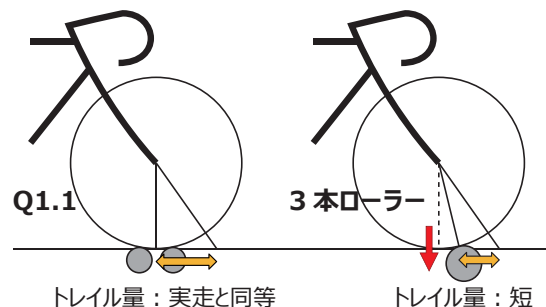
自転車はペダリングのタイミングに合わせて前後に動き、踏み込みが強いとローラーから飛び出そうとする力が強く働きます。フリーダムシステムでは、後ろのユニットがスライドしながらこの前後の力を吸収し、踏み込んだでも飛び出さずらく、安定感と上質な乗り心地をキープします。



### 【ハンドリングを左右するのはトレイル量】

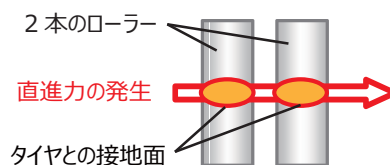
自転車はトレイル量が長いほど直進安定性は増し、短いほどクイックなハンドリングになります。

従来の 3 本ローラーはフロントホイールより前にローラーを設置する必要があるため、トレイル量が短くなり、ハンドリングもシビアになるのでバランスを取るのが難しくなります。フリーダムシステムは、2 本のローラーの上にフロントホイールを設置する為、実走と同等のトレイル量を確保することができ、安定感のあるハンドリングを実現しています。



### 【2 本のフロントローラーが自然なハンドリングを再現】

従来の 3 本ローラーはフロントホイールの前方に接地点があるので、乗車中はフロントホイールが下に落ち込もうとする力が働きます。この状態でハンドルを左右にきくと、トレイル量の変化と共に落ち込もうとする力も変化し、ハンドリングが異質になりバランスを取るのが難しくなります。フリーダムシステムはタイヤとの接地点を 2 箇所にする事で直進力を発生させます。タイヤとの接地圧をリアルタイムにコントロールすることで、自転車がどのような状態でも自然なハンドリングが再現できるように設計されています。

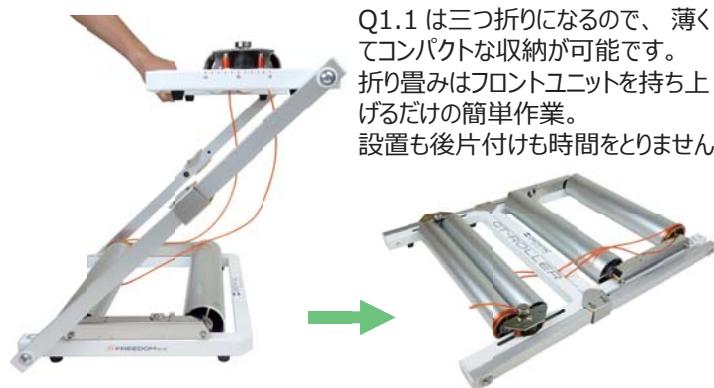


## エレベーター機能



Q1.1 特有のフレーム構造は、前後輪の上下平行移動を可能にします。フロントを持ち上げるとヒルクライムポジションをとることができ、負荷調整機能を併用すれば上り坂を忠実に再現します。

## 折り畳み機能



Q1.1 は三つ折りになるので、薄くてコンパクトな収納が可能です。折り畳みはフロントユニットを持ち上げるだけの簡単作業。設置も後片付けも時間をとりません。

## オプション (発売予定)

【電子負荷ユニット】 20km/h で 400W (予定) の強力な負荷を発生させる電子制御負荷装置をオプションとして用意、低回転高負荷トレーニングにも対応します。

【エレベーターユニット】 斜度約 10% までを再現できるエレベーターユニット。実践的なヒルクライムトレーニングもできます。

【ワイヤレスリモコン】 ハンドルに取り付け可能なワイヤレスリモコンで各ユニットをコントロール可能、集中してトレーニングに打ち込みます。

## 高精度「Double“O”Tube」

Q1.1 に採用される 4 本のローラーは、2 本のパイプを 3 枚のリブで繋ぐ構造。強度を上げ、反響音も抑制します。また、パイプ自体を肉厚にすることでフライホイール効果を持たせ、真円度の高いパイプは気持ちの良い走行感と静寂性を得られるように設計されています。

